

話し合ったテーマ

基礎自治体ごとに話し合いたいテーマを事前に設定しました。

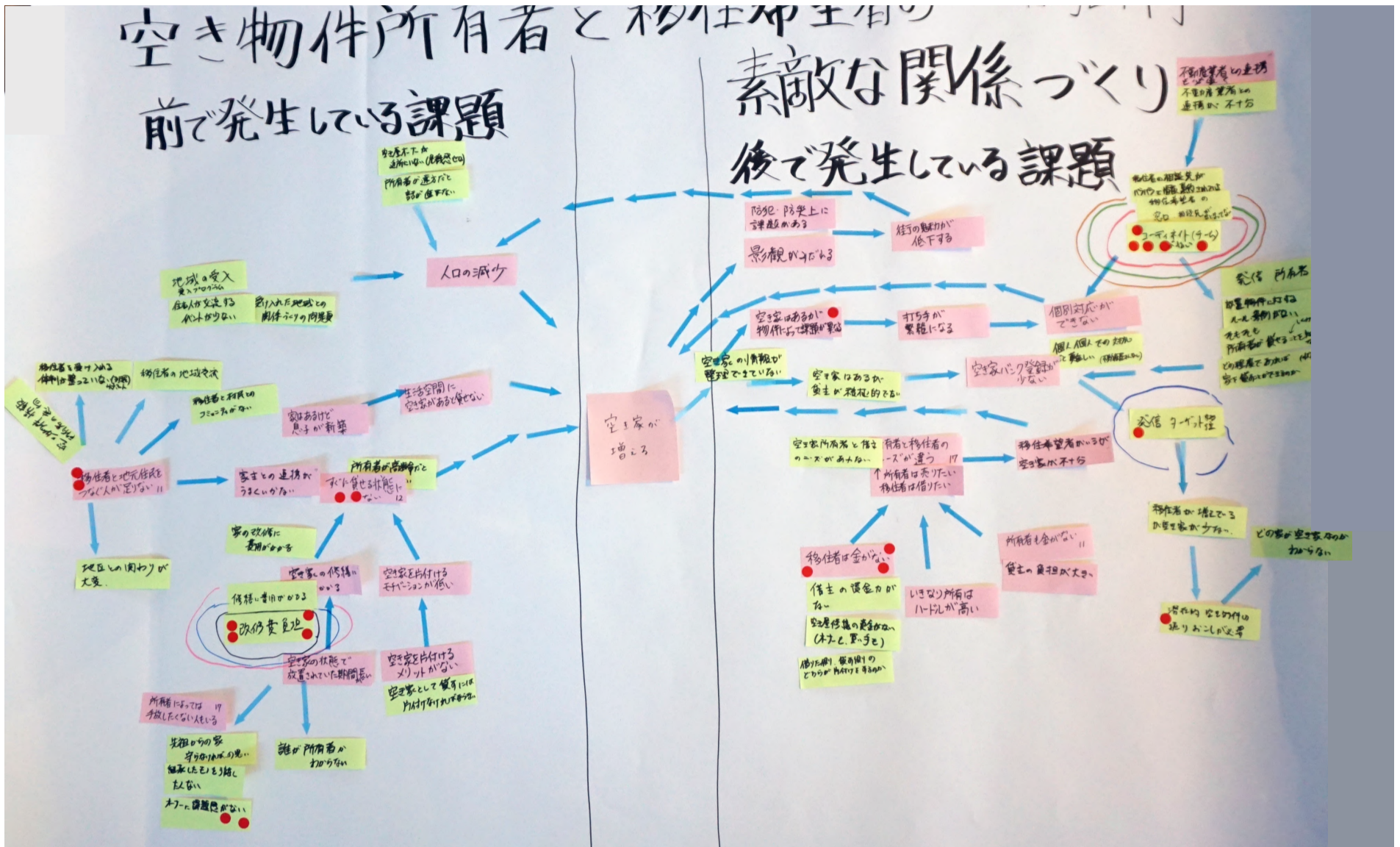
空き物件所有者と移住希望者の素敵な関係づくり

自治体名

高山村

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいのかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのか？を、「問い」のかたちにとめました。

1 改修費負担

空き物件の改修にかかる具体的な費用がわからない移住定住希望者が改修のイメージを想像しやすくなることで空き物件の利用を始めるために、何が可能か？

2 コーディネートチームがない

個々に活動している行政・移住定住コーディネーター・村内業者（不動産、大工など）・村民が連携して移住定住希望者と空き物件所有者をサポートし、40軒の空き物件を循環させるために、何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

<p>たからの空き家クラウドファンディングプロジェクト</p>	<p>さとのわやコンビニで living scape takayama プロジェクト応援者が、クラウドファンディングに参加する。出資リターンがもらえる自販機や空き家回収募金つきのお土産などを用意する。</p>	<p>リノベ物件で暮らそう</p>	<p>空き家を使いたいときに、役場 or さとのわで移住担当者がリフォームに関しての支援を紹介する。リフォーム補助金の拡大や、改修の相談にのるなど、村全体でサポートすることを目指す。</p>
<p>たからの空き家発掘情報サイト</p>	<p>空き家プロジェクトチームが空き家所有者に向けて、ウェブサイトやフリーペーパーをつくる。定期的に空き家活用のメリットや活用の流れを伝えたり、また移住希望者には物件情報やリフォーム事例を具体的に伝える。</p>	<p>living scape takayama プロジェクト</p>	<p>月に1回、高山未来センター「さとのわ」で各種に関する相談を受けるプロジェクトチーム（移住コーディネーター+専門家）に、移住相談、移住後の困りごとを相談できる場所をつくる。</p>